

# コロナ危機乗り越え、くらし・福祉優先の県政を



党県議団が主催し、兵庫県国保運営方針改定案の説明会を開催。党地方議員、各団体の代表者などが参加（2020年11月18日）。

2018年に都道府県が財政運営の責任主体となった国民健康保険について、納付金の算定に医療費水準を反映させないという運営方針改定案に対し、「医療費水準を低く抑えている市町が重い納付金を課せられ、全体として保険料水準統一と国保料引き上げのレールを敷くもので容認できない」と反対しました。

国庫の増額を国に求め、子どもの均等割の廃止や減免などを県独自の施策でこない、高すぎる国保料を協会けんぽ並みに引き下げることを国に求めました。

## 国民健康保険料 協会けんぽ並みに 引き下げを

## GOTO見直し 事業者への直接支援を

政府は、年末年始の「GOTOトラベル」の一旦停止を決めましたが、遅すぎます。

党県議団は、県に対し、GOTO事業の中止・見直しとともに、中小業者への支援は、感染状況や業種に応じた減収補填「地域事業継続給付金」（仮称）のような支援事業、あるいは緊急対策として「年越し給付金」等を行うこと、そのための国への財政支援等を求めました。



新型コロナウイルス感染症対策についての第9次申し入れで要望を伝える県議団（2020年11月25日）。

## 緊急に消費税の5% への減税を国に要請

所得の少ない人、中小業者にとって一番効果的な支援策として消費税の5%への減税を国に要請することを求めました。

海外では多くの国が、減税に踏み切っています。

あわせて19年度と20年度分の消費税納税分を免除することを強く求めました。

### 37カ国がコロナ危機を受けて「付加価値税」の減税を実施

- |         |          |          |
|---------|----------|----------|
| ●イギリス   | ●チェコ     | ●ブルキナファソ |
| ●ドイツ    | ●ブルガリア   | ●ザンビア    |
| ●オーストリア | ●モンテネグロ  | ●カーボベルデ  |
| ●フランス   | ●ギリシャ    | ●コスタリカ   |
| ●イタリア   | ●モルドヴァ   | ●コロンビア   |
| ●スペイン   | ●マルタ     | ●パラグアイ   |
| ●ポルトガル  | ●キプロス    | ●フィジー    |
| ●オランダ   | ●ロシア     | ●韓国      |
| ●ベルギー   | ●カザフスタン  | ●中国      |
| ●ノルウェー  | ●ウズベキスタン |          |
| ●フィンランド | ●トルコ     |          |
| ●アイルランド | ●チュニジア   |          |
| ●エストニア  | ●ニジェール   |          |
| ●ポーランド  | ●ケニア     |          |
- ※大門美紀史事務所  
作成資料より  
2020年11月2日現在

## 学生支援給付金の 再支給を

2割の学生が退学などを考えているといわれるきわめて深刻な実態のもとで、学生支援緊急給付金を一回限りにせず、再支給を行うことなどを求めました。国は、再支給を表明しましたが、支給要件を緩和し、広く学生に行き渡るようにすることが求められます。

## 県民緑税は 延長するな

兵庫県は、2006年度から、「緑の保全・再生を社会全体で支える」として、「県民緑税」（県民税均等割超過課税）を導入し、年間一人あたり800円の県民負担を強いています。党県議団は、暮らしも大変ななかの庶民増税であると導入時から反対。

今回は、2020年度までの期限をさらに5年間延長する議案に対して、「真に森林保全となるような検討も必要。コロナで大変ななか、県民負担を継続させることは容認できない」と反対しました。

## 高速道路の延伸よりも 暮らし応援を

党県議団は、議案の中に、東播磨道や園田西武庫線など不要不急の道路事業の推進が含まれ、反対しました。

コロナ禍のなかで、たいへんになっている医療現場と県民の暮らしの支援が何より求められます。



## 医療「崩壊」招く病床削減 地域医療構想は見直しを

兵庫県は、2014年に28,747床あった急性期病床を、2025年には18,257床へと約10,000床を削減する地域医療構想を推進しています。そのために県内では16の公立・公的病院を統廃合しようとしています。

コロナ禍のもとで、一極集中のもろさが露呈し、病床や看護師不足もあらわになりました。

県議団は「地域医療を守り、医療崩壊を起こさないためにも地域医療構想は中止せよ」と、要望しました。



兵庫県社会保障推進協議会が「兵庫県 地域医療構想」撤回を求める要望書を提出（2020年12月14日）。



## 県庁再整備、ホテル誘致よりも 県民の命・暮らし優先の 予算編成を

11月11日、日本共産党兵庫県議団は、井戸敏三兵庫県知事へ、県民の命と暮らしを優先した予算編成をと、9分野740項目の申し入れを行いました。

コロナ対策として検査・保健・医療体制の充実、事業者や暮らし支援、少人数学級、学生支援等を求めたうえで、「コロナ以前に基本構想がつくられている県庁舎再整備計画は、コロナをふまえてゼロベースで見直すべき」「ラグジュアリーホテル誘致については、コロナで破たんしているインバウンド頼みであり、そもそも県庁舎整備に相応しいと言えない」と見直しを求めました。



井戸敏三兵庫県知事に、2021年度予算編成への申し入れ書を手渡す党県議団（2020年11月11日）。

